

第 38 回中国ミニバスケットボール交歓大会出場報告書

熊野・川中ミニバスケットボールスポーツ少年団

大村 基康

平成 31 年 1 月 4 日から 6 日まで岡山県で開催されました第 38 回中国ミニバスケットボール交歓大会に参加させていただきました。

まず、初日の代表者会議において、主催者様より今回の大会が開催できることを安堵しておられる旨の発言がありました。それはこの会場が岡山県の平成 30 年 7 月豪雨の避難場所となっていたため、開催地の方々のご苦労は大変なものであったと思います。ご尽力に感謝申し上げます。

さて、初日の第一試合対戦相手は島根県 3 位のチームで、お聞きすれば県の優勝候補を破り勝ち上がってこられたとのこと、チームとしてのサイズはなかったのですがスピード、テクニック、特にボールのキープ力はすばらしく島根県のレベルの高さを思い知らされました。

初日をなんとか乗り切ったものの、二日目の組合せを見て驚きました。

私たちのブロックに地元岡山県 1 位のチームが入ってきました。これで広島県 1 位とあわせて 1 位のチームが 3 チーム。しかも両チームとも全ミニに出場されるとのこと。

結果としては 2 回戦を苦しみながら突破出来ましたが、3 回戦は縦へゴールへとドライブし、外からのシュートも正確なオフェンス力に敗退。三日目の 5 位 6 位決定戦へ。

初戦、鳥取県 3 位のチームとの対戦の後、山口県決勝大会の準決勝で辛勝した相手でしたが、試合に臨む意気込みや姿勢に差が出た試合でした。全体 6 位という結果で大会を終えることとなりました。

頑張った子どもたちに、そしてベンチに入れてあげられませんでした。試合前の準備、ベンチ作り、一生懸命応援してくれた 2 人のメンバーに感謝です。

試合以外では出場した山口県のチームの試合にお互いに応援に行くなど、子どもたちも大人も交流を深め中国交歓大会を楽しむことが出来ました。

この大会の出場にあたり沢山の方々に多大なご寄付、応援をいただきました。改めまして心からのお礼を申し上げます。

さらに、遠征経費節減のため奔走してくださったチーム役員の皆様、途中事故渋滞にあり約 7 時間もの間マイクロバスや荷物車の運転をしてくださったご父兄の皆様、感謝という言葉では言い尽くせません。本当にありがとうございました。

最後に、開催地岡山県のグリーンジャンパーズの皆さん、すばらしい運営でした。うまくはいませんが、感動でしかありません。そして、このスタッフの子どもたちに、そろいのジャンパーを着せることをご決断された主催者の皆さまに敬意を表して、私の中国交歓大会の報告とさせていただきます。

第 38 回中国ミニバスケットボール交換会報告書

熊野・川中ミニバスケットボールスポーツ少年団
キャプテン 田上 愛珠

山口県大会では、決勝で 3 点差と惜しくも全国大会の出場を逃しましたが、山口県 2 位という結果で中国大会への出場となりました。

このチームでは、初めての中国大会、初めての岡山県での試合ということで、ワクワクとドキドキでいっぱいでした。山口県が一番端の下関市からの出場のため、マイクロバスを借りて前日からホテルに宿泊することになったのですが、事故渋滞もあり約 7 時間かけてホテルに到着。途中何度も休憩をとってもらったのでみんな疲れはあまりなかったのですが、バスの中で持ってきたお菓子をほとんど食べてしまったメンバーもいました。ペース配分がまだまだです。夜のお菓子交換会では仕方がないので少し分けてあげました。ホテルでは、初めて泊まるメンバーばかりなので、オートロックやユニットバスの使い方の説明を受けることになったのですが、すでに鍵を部屋に忘れ締め出された人も。親に言わせればホテルあるあるだそうです。

なんだか修学旅行に来たような気分でしたが、翌日試合会場に行くと気分は一転、広さと人の多さでドキドキと震えが止まりませんでした。1 試合目は北陽と対戦。接戦でしたが 5 点差で勝利。2 試合目の弥生小もこれまた僅差の 2 点差での勝利。心臓によくない試合が続きました。そして、3 試合目は広島 1 の井口。広島 1 と聞いただけでプレッシャーは相当のものでした。熊川チームの「あきらめない心」で頑張ったのですが、残念ながら敗戦。最後、5 位決定戦で同じ山口代表の厚狭に負け 6 位という結果で終わりました。

中国大会は優勝を目指していたので悔しさもありますが、それ以上にみんなに対し感謝の気持ちをいっぱい実感した大会でした。

最後に、大会運営者の方々や、グリーンジャンパーを着てお手伝いをしてくださった方々がいて中国大会が開催されたことにすごく感謝しています。寒い中ありがとうございました。また、中国大会に出場できたのも、お父さん、お母さんの支え、監督、コーチ、先生からの熱心な指導のおかげだと深く感謝しています。小学生での試合は残り少なくなってきましたが、中国大会の経験を活かし、チームで一致団結して頑張っていこうと思います。本当にありがとうございました。

